

福井陸上競技協会 暑熱対策について ～2026年度以降の競技会について～

近年の気候変動に伴い、猛暑による競技者および関係者への健康影響がより深刻化しています。公益財団法人日本陸上競技連盟は、「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック（日本スポーツ協会）」に基づいて安全な大会運営に取り組んでおり、猛暑時期における全国大会等においても、WBGT31度以上に最もなりやすい11時～15時の時間帯の競技を避け、クールダウンをとる時間を確保したり、それに伴う競技時間の短縮に対応すべくラウンド制からタイムレース決勝制に変更して大会運営するなど、競技者・審判・関係者・観客等の安全と健康を守ることを最優先とした運営となっています。福井陸上競技協会としましても、今年度9月に開催した高校の大会では、昼の休憩時間の確保、長距離種目を少しでも涼しい時間帯に実施するなどの対策を講じて実施してきました。

さて、2025年10月23日付で、日本陸上競技連盟から「主催競技会における暑熱対策について（2026年度以降）<https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202510/syonetsu-2026.pdf>」という文書が出され、加盟団体・協力団体においても、競技会に関わるすべての人々の安全と健康を最優先する競技会の設定・運営が求められております。本協会と致しましては、日本陸上競技連盟の方針に則り、2026年度以降の競技会を設定していかねばならないと考えております。各市町陸上競技協会におかれましては、来年度（2026年）以降の競技会につきまして、日本陸上競技連盟が掲げる以下の方針に基づく形で設定していただきますようよろしくお願いします。

1. WBGT31度以上となる暑熱環境下での運動（競技）は原則中止・中断する。
2. WBGT31度以上となる可能性が極めて高い7月・8月については、確実にWBGT31度以上にならない地域または時間帯（競技時間のみならずウォーミングアップ等すべての運動・活動を含む）での開催を除き、競技会は実施しない。
3. 7月・8月以外の競技会においても、暑熱環境下での運動（競技）やその判断は、上記1. および2. と同様とする。

※一度、日本陸連からの「主催競技会における暑熱対策について（2026年度以降）

<https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202510/syonetsu-2026.pdf>」をご確認ください。7月・8月の競技会については、モーニング・イブニングの2部開催、夜開催あるいは涼しい場所での開催など、条件が記されております。

※日本陸連の方針に合わない競技会の設定をされた場合、本協会の共催や後援はできかねます。その場合でも競技会を開催することは可能ですが、その大会内で起こった熱中症や事故等における責任は各市町陸上競技協会でご対応いただくこととなりますので、慎重な大会設定をお願いします。